

# 令和2年度病害虫発生予察情報速報

令和2年8月5日  
長崎県病害虫防除所長

## 早期水稲 トビイロウンカの発生状況及び防除について

令和2年7月15日付け令和2年度病害虫発生予察注意報第3号発表後の発生状況は下記のとおりで、圃場での発生増加がみられています。これまでの天候不順により適期防除が実施できておらず、また実施していても効果が不十分な圃場については、下記の点に留意して防除の徹底をご指導願います。

### 記

#### 1. 発生状況等

- (1) 7月後期の巡回調査（25筆）の結果、株当たり虫数は0.6頭（平成 0.1頭）、発生圃場率は76.0%（平成 24.0%）と多く（図1、2）、幼虫主体であったものの、短翅型雌成虫も一部圃場で見られた。また、坪枯れが多かった昨年の同時期と比較しても発生が多い。
- (2) 各地区の調査結果については表のとおりであり、地域間差がみられている。
- (3) 県予察圃場（無防除）において、7月下旬の調査では株当たり虫数は2.3頭（平成 0.2頭）と多く、8月3日の調査では株当たり虫数は16.7頭（平成 0.4頭）と急増した。幼虫は中老年主体であり、短翅型雌成虫も見られた。
- (4) 気象予報（福岡管区气象台、令和2年7月30日発表）によると、向こう1か月の気温は高い見込みであり本虫の発生に好適である。

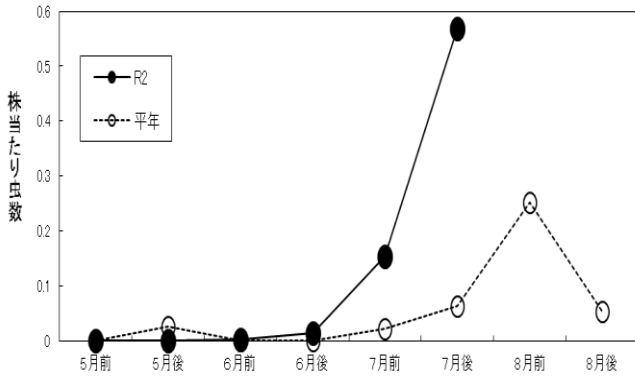


図1 トビイロウンカの株当たり虫数の推移

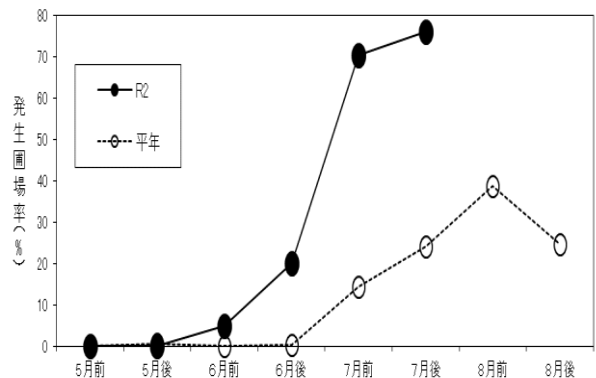


図2 トビイロウンカの発生圃場率の推移

表 早期水稲におけるトビイロウンカの発生状況

【7月後期】			(上段：圃場数、下段：(圃場率%))				【8月初旬】			(上段：圃場数、下段：(圃場率%))			
区分	調査日	トビイロウンカの株当たり虫数(頭)			調査日	トビイロウンカの株当たり虫数(頭)							
		0	0~1未満	1~5未満		0	0~1未満	1~5未満	5~				
振興局	県央	7月27日	5 (100.0)	0	0	振興局	五島	8月3日	0	2	2	2	
	県北	7月27日	1 (5.0)	13 (65.0)	6 (30.0)				(33.3)	(33.3)	(33.3)		
	壱岐	7月29日	3 (50.0)	3 (50.0)	0								
	対馬	7月31日	1 (33.3)	2 (66.7)	0								
圃場数計			10	18	6								
(圃場率%)			(29.4)	(52.9)	(17.6)								

\* 県央、県北：巡回調査 壱岐、対馬：臨機調査

## 2. 防除対策

- (1) 本虫の発生は圃場間や同一圃場内でも偏りがあるので、圃場の見回りを徹底して、圃場全体の発生状況を把握した上で防除を行う。
- (2) 本虫は株元に好んで寄生するので、農薬散布は株元に薬剤が十分付着するよう丁寧に行う。
- (3) 収穫時期が近いので、薬剤の散布時期に注意し使用基準を遵守する。また、周辺環境を十分に確認し、ミツバチを含め周辺動植物等への飛散等の影響がないよう十分注意する。

---

○6月から8月までの3か月間を「農薬危害防止運動月間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

